

みずほリースがリコーおよびリコーリースと業務提携－新たな事業機会の創出に注目

以下は、みずほリース株式会社（証券コード：8425）の株式会社リコー（同：7752）およびリコーリース株式会社（同：8566）との業務提携についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) みずほリース（当社）は、3月9日付で、リコーからリコーの連結子会社であるリコーリースの普通株式6,160,000株（取得総額367億円）の取得を前提に3社間における業務提携を行うことを決議し、両社との間で業務提携契約を締結した。株式取得に伴いリコーリースに対する当社の議決権所有割合は20%となり、リコーリースは当社の持分法適用関連会社となる予定である。
- (2) 当社の事業基盤は、大・中堅企業向けのホールセールが中心であり、リコーリースの事業基盤は、中小企業向けのベンダーファイナンスが中心である。JCRでは、本提携が、直ちに当社の格付に影響を及ぼすとはみていない。当社とリコーリースが互いの強みやノウハウなどの活用を通じ、事業機会の拡大を促進していくことが出来るかどうか、提携の今後の効果に注目している。

（担当）杉浦 輝一・木谷 道哉

【参考】

発行体：みずほリース株式会社

長期発行体格付：A 見通し：安定的

発行体：リコーリース株式会社

長期発行体格付：AA- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル